

主な地震記録と構造基準の変遷

主な地震記録	建築構造規定
	1886年 日本建築学会設立
1891/10/28 能美地震(M8.0)	
1923/09/01 関東大震災(M7.9)	
	1924年 物法令に地震力を見込む事。 木造は筋交を入れる事。(量の記載なし)
1944/12/07 東南海地震(M8.0)	
1945/01/13 三河地震(M7.1)	
1946/12/21 南海地震(M8.1)	
1948/06/28 福井地震(M7.1)	1950年 建築基準法
	1964年 高層建築技術指針、高さ制限解除
1968/05/16 十勝沖地震(M7.9)	1971/06/17 建築基準法改正(旧耐震基準) 帯筋間隔、木造の基礎強化
	1981/06/01 (昭和56年施行) 新耐震設計基準
1983/05/26 日本海中部地震(M7.7)	
1994/10/04 北海道東方沖地震(M8.1)	
1995/01/17 阪神大震災(M7.3)	1995/12/25 耐震改修促進法
	2000/06/01 基準法大改正。性能規定、限界耐力計算法
2003/05/26 宮城県沖地震(M7.0)	
2003/07/26 宮城県北部地震(M6.2)	
2003/09/26 十勝沖地震(M8.0)	2005/10/28 改正耐震改修促進法
2004/10/23 新潟県中越地震(M7.0)	2005/11/17 耐震偽装事件発覚
	2006/01/26 改正耐震改修促進法施行
	2007/6/20 構造計算適合性判定(ピアチェック)
2011/03/11 東北地方太平洋沖地震(M9.0)	2013/07/12 天井脱落対策、エスカレーター落下防止
2016/04/14 熊本地震前震(M6.5)	
2016/04/16 熊本地震本震(M7.3)	
2018/06/18 北海道胆振東部地震(M6.7)	